



想像以上のインド映画体験！

インディアンシネマウィーク



リターンズ

INDIAN
CINEMA WEEK
RETURNS

東京

12/21金～

1/3木

@キネカ大森

大阪

12/22土～

12/28金

@シネ・ヌーヴォ

映画大国インドから、ヒンディー語、タミル語、
マラヤーラム語映画の新旧ヒット、高評価作品
11本を紹介！



想像以上のインド映画体験! INDIAN CINEMA WEEK RETURNS

インディアンシネマウィークリターンズ

インドは多言語の国。北部ではヒンディー語やマラーティー語、南部ではタミル語やマラーヤラム語、テルグ語など、さまざまな言語で映画が製作されており、作風も言語によって異なります。多様なインド映画を紹介したいと、2017年にインディアンシネマウィーク(ICW)を初めて開催し、2018年9月～10月には第2回目を開催しました。そしてこのたび、過去の上映作品から人気作、要注目作11本を選び上映する「インディアンシネマウィーク・リターンズ」を開催します。ダンスもドラマも盛りだくさんのマサラ映画から、社会問題を扱うドラマ、オフビートなクライムコメディまで作風はさまざま。そして、予告映像からは想像がつかないほどのエンタテインメントやドラマが盛り込まれた作品が多いこともインド映画の特長といえます。ICW リターンズで、インド映画の多様性と想像以上の映画体験をお楽しみください。

上映作品紹介 (全作品日本語字幕付き)



アルヴィ
Aruvi

ドラマ

社会問題を扱うTVのリアリティショーの撮影現場が、若い女性アルヴィによって乗っ取られる。彼女はどのようにしてこの犯行に成功したのか、そして何を訴えようとしたのか…。監督・主演俳優ともに新人の作品ながら驚異的にヒットし、南インド国際映画賞(SIIMA)2018では、新人監督賞と批評家が選ぶ女優賞をダブル受賞した。

監督: アルン・ブラブ・ブルショータマン
出演: アディティ・バーラン、ラクシュミ・ゴーパーラスワミ
2017年/タミル語/130分



マジック
Mersal

ドラマ アクション
ダンス★★★★

チェンナイの低所得者層地域で開業するマーラン医師は、低額で患者を診る人徳者で、国際会議でも表彰される。しかしその周りで医療関係者の不審死が起き、警察は彼を拘束して尋問する。そこで浮かび上がったのは、ヴェトリという名の彼と瓜二つの奇術師だった。ラジニカーントに続くタミル映画界の人気俳優ヴィジャイの大ヒット作品。

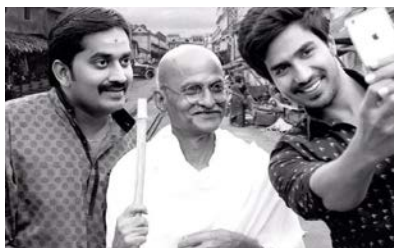
監督: アトリ 出演: ヴィジャイ、サマンタ、カージャル、ニティヤ、S.J. スーリヤ 音楽: A.R. ラフマーン
2017年/タミル語/163分



キケンな誘拐 コメディ★ ダンス★
Soodhu Kavvum

失業中のセーカル、ケーサヴァン、バガラヴァンは、酒場で出会った誘拐犯ダースから仲間に誘われる。迷いながらも彼に同行、チームは次々と身代金目当ての誘拐を成功させてゆく。しかしある日舞い込んだ一発大逆転の儲け話からトラブルに巻き込まれ…。登場人物のキャラの濃さと予測不能のストーリー展開、全編に漂うシュールな香りがあまりにも斬新な、タミルニューウェーブの傑作。

監督: ナラン・クマラサーミ 出演: ヴィジャイ・セードゥパティ、ボービ・シムハー、カルナーカラン
2013年/タミル語/127分



今日・昨日・明日 SF ファンタジー
Indru Netru Naalai

恋人とうまくいかず意気消沈する無職の青年イランゴーは、占い師の親友ブリヴェットに慰められていた。そんな二人の目の前に、未来の科学者から送り込まれタイムマシンが現れる。彼らはタイムトラベルを使ったある商売を思いつき大成功するが、「過去」での行動が大問題を引き起こしてしまう。インド映画的な要素がうまく絡められたカラフルなSFコメディ。

監督: R. ラヴィ・クマール 出演: ヴィシュヌ・ヴィシャル、ミア・ジョージ、カルナーカラン
2015年/タミル語/139分



リンガー アクション ドラマ
ダンス★★★★

ダム の再建計画が持ち上がる村で再建反対派の調査官が殺された。夢の中で、かつての王から「村を救うにはダム近くのシヴァ寺院の扉を開くのだ」とお告げを受けた村長は、それを唯一許される「王の血を引く者」を探すよう、孫娘ラクシュミに命じる。スーパースター・ラジニカーント病床からの完全復帰後第1作としてファンにその健在ぶりを知らしめた記念碑的作品。

監督: K.S. ラヴィクマール 出演: ラジニカーント、アヌシュカー・シェッティ、ソーナークシー・スィナー
2014年/タミル語/178分



神が結び合わせた2人 Rab Ne Bana di Jodi

ラブストーリー コメディ
ダンス★★★★

電力会社に勤めるスリーは思いがけず恩師の娘ターニーと結婚し、ごくちない生活を送っていたが、妻の心を勝ち取るためにサ工ない外見を一掃。別人ラージを装い、妻が通うダンス教室に現れ、ペアダンスを踊ることになった…。キング・オブ・ボリウッド、シャールク・カーンが二役を演じる、涙アリのラブコメディ。

監督:アディティヤ・チョープラ 出演:シャールク・カーン、アヌシュカー・シャルマ、ヴィナイ・バータク、カジョール (特別出演)
2008年/ヒンディー語/164分



ならず者たち Gunday

ドラマ アクション
ダンス★★★★

バングラデシュ独立時にカルカッタへ逃れた孤児ヴィクラムとバーラーは、それぞれの天分を生かし、助け合いながらマフィアのドンにのし上がる。しかし二人が美貌のショール・ナンディニーに恋をして、彼らの固い友情と絆に亀裂が生じ、信頼が崩れ始めた。豪華なソングシーンなど、見どころが満載のマサラムービー。

監督:アリー・アッパース・ザファル 出演:ランヴィール・シン、アルジュン・カプール、プリヤンカー・チョープラー、イルファーン・カーン
2014年/ヒンディー語/152分



ピンク Pink

ドラマ

デリーに暮らすミーナルは、コンサートで会った男から性的暴行を受けそうになり、殴ってケガをさせてしまう。相手は身内の政治家の力を利用して、逆に彼女を殺人未遂で訴える。弁護士ディーバクの助けを得て、法廷でのミーナルの闘いが始まるが…。アミターブ・バッチャン演じる老弁護士が、名セリフとともに社会にはびこる腐敗と偏見に立ち向かい、女性の尊厳を問う。

監督:アニルッダー・ローイ・チョドゥリ
出演:アミターブ・バッチャン、タープスィー・パンズ
2016年/ヒンディー語/136分



銃弾の饗宴

Goliyon Ki Raasleela Ram-Leela

ラブストーリー ドラマ
ダンス★★★★

愛し合うラームとリーラーは、幾世代にもわたり対立してきた部族ラジャーリとサネラの出身。互いに銃を突きつけながらも愛を貫こうとするが、互いの部族は抗争により混乱を極め、二人はそれぞれの部族を治める長になった。色彩の魔術師バンサーリー監督が描く、極彩色のロミオとジュリエット。

監督:サンジャイ・リーラー・バンサーリー 出演:ランヴィール・シン、ディーピカー・パドゥコーン、スプリアー・パータク、リチャー・チャッダー
2013年/ヒンディー語/155分



ドゥルガー 〜女神の闘い〜 Kahaani 2

ミステリー

西ベンガルに住むヴィドヤーと少女ミニー。ある日ミニーが誘拐され、救出に向かったヴィドヤーは交通事故に。事故を担当した警部補のインデルは、彼女が前妻のドゥルガーで指名手配犯であると知る。なぜミニーは誘拐され、ドゥルガーは指名手配されたのか。そして二人の過去は…。日本でも高評価だった『女神は二度微笑む (Kahaani)』シリーズ作品。

監督:スジョーイ・ゴーシュ 出演:ヴィディヤー・バーラン、アルジュン・ラームパール、ジュガル・ハンスラージ
2016年/ヒンディー語/128分



マヘーシュの報復

Maheshinte Prathikaaram

ドラマ

写真館を営むマヘーシュは路上でケンカに巻き込まれ、公衆の前で侮辱される。さらには幼なじみにもフラれる。失意の底でマヘーシュは、ケンカの雪辱を果たすその日までサンダルを履かず裸足で通すと決意する。エンタテインメント作品が多い南インドで独自の雰囲気を持つマラーヤラム映画界2016年のヒット作。インド国家映画賞で最優秀脚本賞、マラーヤラム映画部門・最優秀映画賞を受賞。

監督:ディリーシュ・ポータン 出演:ファハド・ファーシル、アバルナ・パールマリ、アヌシュリー、サウビン・シャーヒル
2016年/マラーヤラム語/121分

チケットのご購入・スケジュールについて

- ・チケットは各劇場窓口でお買い求めください。前売券の販売はありませんのでご了承ください。
- ・上映作品は会場によって異なります。
- ・上映スケジュールおよびマサラ上映などのイベント情報は、ICW および各劇場のウェブサイトにてご確認ください。

東京

開催期間：2018年12月21日(金)～2019年1月3日(木)

会場：キネカ大森 https://ttcg.jp/cineka_omori

■ 上映作品

神が結び合わせた2人 (Rab Ne Bana di Jodi) / ならず者たち (Gunday) / 銃弾の饗宴 (Goliyon Ki Raasleela Ram-Leela) / マジック (Mersal) / リンガー (Lingaa) / アルヴィ (Aruvi) / ドゥルガー〜女神の闘い〜 (Kahaani 2) / マヘーシュの報復 (Maheshinte Prathikaaram) / ピンク (Pink) / キケンな誘拐 (Soodhu Kavvum) / 今日・昨日・明日 (Indru Netru Naalai)

■ チケット

全席指定席。12月15日(土)9時35分より、劇場窓口にて全日程先行予約受付開始。
※窓口受付は20時までとなります。

■ 料金

一般：1,800円 / 大学・専門生：1,500円 / 3歳～高校生：1,000円 /
シニア：1,100円 / 水曜サービスデー：1,100円
TCG会員：1,300円 / TCG会員サービスデー(火・金)：1,000円

※株主優待券・各種招待券使用不可、キネカード割引適用外となります。予めご了承ください。



JR 京浜東北線 大森駅東口 徒歩3分
〒140-0013
東京都品川区南大井 西友大森店 5F
☎ 03-3762-6000

大阪

開催期間：2018年12月22日(土)～12月28日(金)

会場：シネ・ヌーヴォ <http://www.cinenouveau.com>

上映時間：連日11時より

■ 上映作品

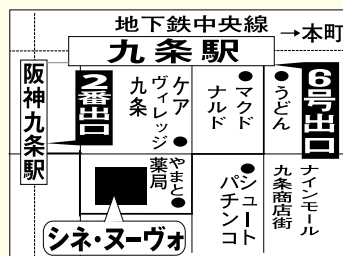
神が結び合わせた2人 (Rab Ne Bana di Jodi) / ならず者たち (Gunday) / 銃弾の饗宴 (Goliyon Ki Raasleela Ram-Leela) / マジック (Mersal) / リンガー (Lingaa)

■ チケット

全席指定。朝から当日分の整理券付きチケットを発売します。
ご入場は各回の10分前です。整理番号順となります。

■ 料金

一般1700円 / 学生1100円 / シニア1100円 / 会員1000円
水曜サービスデー：1100円



地下鉄中央線九条駅6番出口から徒歩3分
阪神なんば線九条駅2番出口から徒歩3分
〒550-0027
大阪市西区九条 1-20-24
☎ 06-6582-1416



icwjapan.com

[icwjapan](https://www.facebook.com/icwjapan)

[@icw_japan](https://twitter.com/icw_japan)